



元気と希望と歩むまち  
住みよさ やさしさ 東松山

# 第六次東松山市総合計画

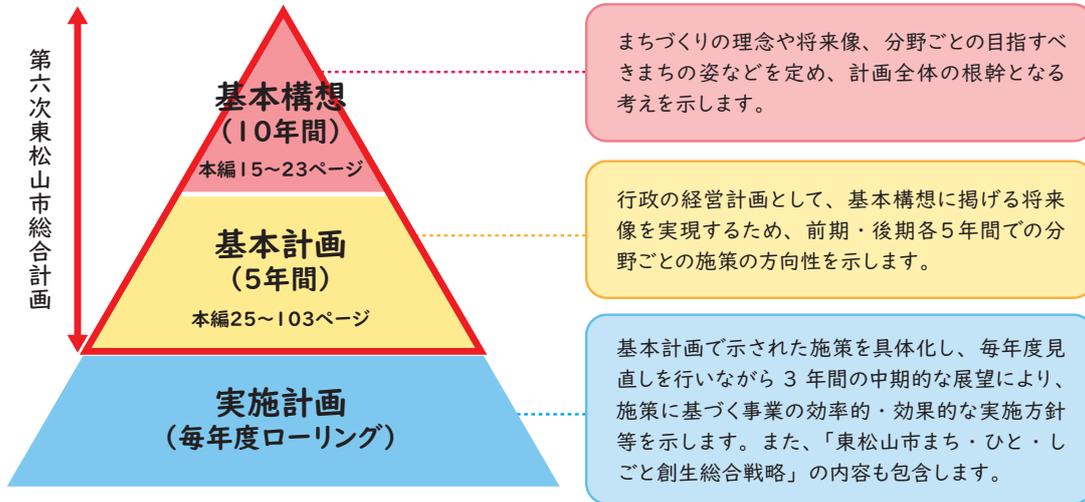
令和8年度～令和17年度  
2026～2035

概要版



# 総合計画とは…

自治体におけるまちづくりの指針となる計画で、将来目指すべきまちの姿を示すとともに、各分野の施策の方向性を定めた、市の最上位計画に位置づけられるものです。



	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度	令和13年度 2031年度	令和14年度 2032年度	令和15年度 2033年度	令和16年度 2034年度	令和17年度 2035年度		
<b>基本構想</b>	10年											
<b>基本計画</b>	前期5年					後期5年						
<b>実施計画</b>	3年			3年			3年			3年		
	3年		3年				3年				3年	
	3年			3年			3年			3年		
	3年				3年				3年		3年	
	3年					3年						
	3年						3年				3年	
	3年							3年			3年	

幅広い意見を反映した計画とするため、市民や関係する方々からたくさんの意見を伺いました。

## 市民意識調査

市政に対する市民意識や要望を把握し、まちづくりの基礎資料として活用するため市民2,000人を対象にアンケート調査を実施。

## シビック・オピニオン・リサーチ

まちづくりに対する評価等を把握し、まちづくりの方向性を検討するため、全市民を対象にオンライン形式でアンケート調査を実施。

## 未来を担う若者との座談会

まちの「賑わい」や本市の「強み・弱み」について意見を伺うため、市内8校の中学生・高校生との座談会を実施。

## 市民ワークショップ

まちづくりに対する市民のアイデアを把握するため、政策提案ゲームを活用した市民同士の話し合いを実施。

## 地区座談会

市内全7地区を対象にこれまでの取組に対する評価や第六次総合計画の策定に向けた本市の課題等について地域の方々との話し合いを実施。

## 子育て世帯ヒアリング

子育て世帯の移住・定住に向けた取組を検討するため、子育て支援センターソーレ・マーレを訪問し、利用者からの意見聴取を実施。



# 東松山市を取り巻く社会情勢



1

## 人口減少の進行

少子化・高齢化による全国的な人口減少を見据えたまちづくりが必要。

2

## 防災・減災対策の推進

頻発化する災害に対応するため、防災・減災体制の更なる強化が必要。

3

## デジタル社会の進展

デジタル技術を活用し、市民生活の利便性向上への取組が必要。

4

## グローバリズム・世界情勢の変化

予測困難で不確実性の増す世界情勢に柔軟に対応し、市民生活を守ることにつながる事業を見極める必要がある。

5

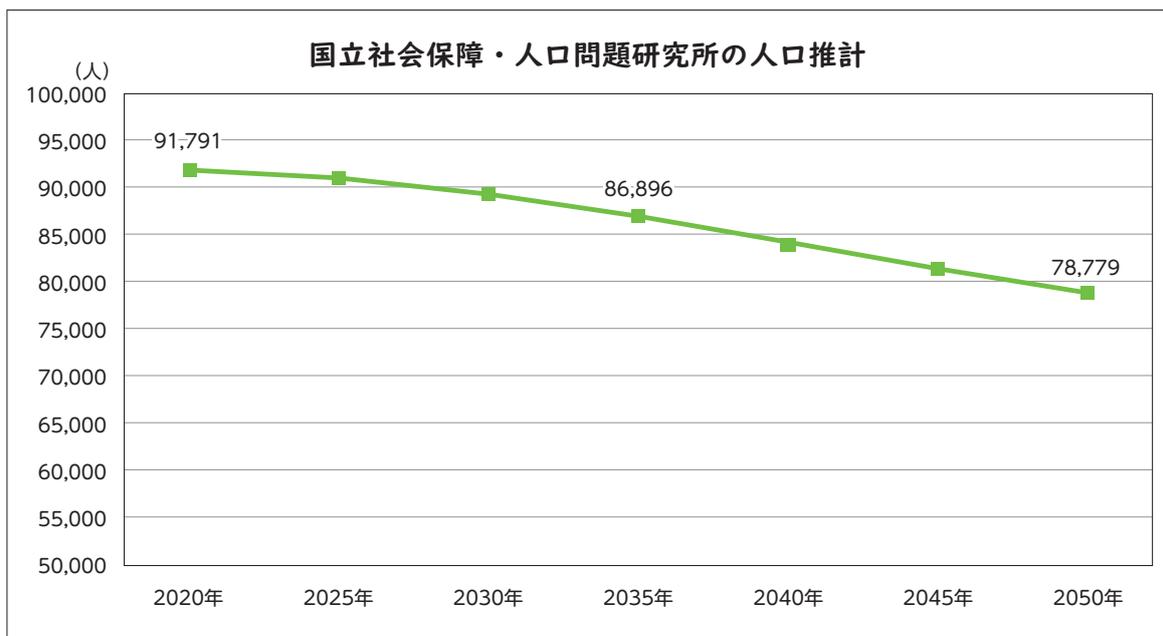
## 食料や農業を取り巻く環境変化

地産地消による域内での経済循環を推進し、安心・安全な「食」の確保に取り組む必要がある。

## 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、計画期間の最終年度に当たる令和17年（2035年）に、本市の人口は86,896人になることが予測されています。

人口減少のスピードが少しでも緩やかになるよう対策を講じながらまちの発展を目指します。



社人研推計人口(人)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	91,791	90,948	89,229	86,896	84,151	81,337	78,779



# まちづくりの理念・まちの将来像

まちづくりの根幹となる「市民力」を重視しながら、賑わいと活力を創出し、全ての市民が生きがいを持って安心して暮らすことのできる東松山市を創造します。

## 【まちの将来像】 元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山

### 元気

- ◆市民の健康増進
- ◆中心市街地の賑わい創出
- ◆観光客の増加
- ◆地域産業の活性化
- ◆移住・定住の促進

### 希望

- ◆子育て環境の充実
- ◆豊かなシニアライフ
- ◆市民が孤立しない社会
- ◆社会で活躍する人材が育つ充実した教育環境

### 歩むまち

- ◆ウォーキングのまち
- ◆市民が健康であり続けること
- ◆元気で希望を抱きながら未来へ歩むこと

### 住みよさ

- ◆整った都市機能
- ◆利便性の高い交通網
- ◆防災力が高いこと
- ◆豊かな自然環境
- ◆防犯力が高いこと



### やさしさ

- ◆人と人とのつながり
- ◆地域住民同士が笑顔であいさつできる関係性
- ◆互いを尊重し、共に地域社会を支えていくこと

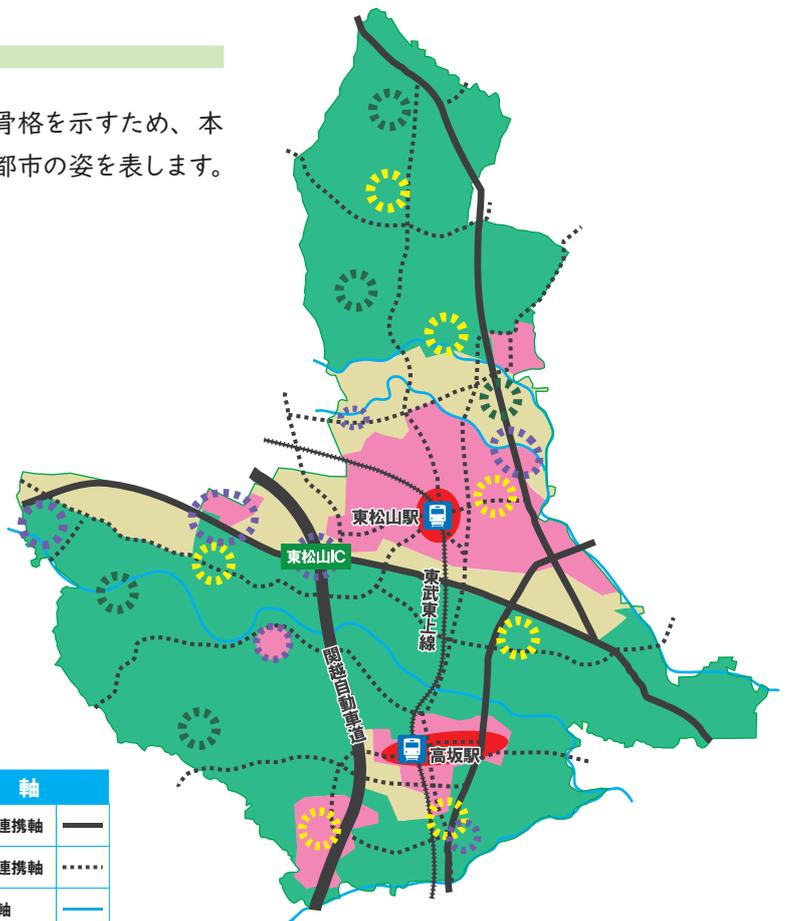


## 将来都市構造

将来像の実現を目指すとともに、まちづくりの骨格を示すため、本市の特徴と将来への展望を見据え、目指すべき都市の姿を表します。

### 将来都市構造の基本的な考え方

1. 東松山駅周辺を「まちの核」  
高坂駅周辺を「まちの副次核」
2. 市街化区域を「市街地ゾーン」
3. 市街化区域に接する市街化調整区域を「緑住ゾーン」
4. 「緑住ゾーン」を除く市街化調整区域を「田園ゾーン」
5. 特徴的な都市の機能等を担う地域を「拠点」
6. 「核」や「拠点」の連携や広域的なアクセス等において重要な役割を担う道路や河川を「軸」



核	ゾーン	拠点	軸
まちの核 まちの副次核	市街地ゾーン	地域の拠点	広域連携軸
	緑住ゾーン	みどりの拠点	地域連携軸
	田園ゾーン	産業の拠点	河川軸



# まちづくりの柱と目指すべきまちの姿

将来像を実現するため、次の6つのまちづくりの柱を設定し、目指すべきまちの姿を定めます。



## 1 こどもの分野

**健やかに育ち、将来に希望を持って成長できるまち**

子育て環境の整備、乳幼児期からの支援の充実、学校教育の充実



## 2 健康福祉の分野

**人とつながり、安心して自分らしく暮らせるまち**

健康づくりの推進、市民病院の充実、地域福祉の推進  
社会保障制度の適正な運営、高齢者福祉の充実、障害者福祉の充実



## 3 環境の分野

**豊かな自然とともに、快適に暮らせるまち**

良好な地域環境の保全、自然環境の保全、資源循環の推進・ごみ処理体制の維持



## 4 生活基盤の分野

**安全性が向上し、安心して暮らせるまち**

防災・減災対策の推進、計画的なまちづくりの推進、公共交通ネットワークの形成・維持、  
道路の整備と維持管理、持続性のある上下水道事業の推進、流域治水の推進、快適な住環境の保全



## 5 産業の分野

**ブランド力を強みとし、成長と発展が持続するまち**

農業の振興、商工業の振興、企業誘致の推進・就労支援の充実、  
観光の振興・シティプロモーションの強化



## 6 市民活躍の分野

**協力と信頼で、心豊かにいきいきと暮らせるまち**

市民参加の促進と生活の安全確保、生涯学習の推進、人権意識・平和意識の醸成



# 重点テーマ

市民意識調査や若者との座談会等で伺った市民の想いや現状を踏まえ、本市の発展に必要な要素を重点テーマに設定しました。3つの重点テーマを相互に連携させながら、分野横断的に取組を推進します。

【まちの将来像】

元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山

こども

健やかに育ち、将来に希望を持って成長できるまち

健康福祉

人とつながり、安心して自分らしく暮らせるまち

環境

豊かな自然とともに、快適に暮らせるまち

生活基盤

安全性が向上し、安心して暮らせるまち

産業

ブランド力を強みとし、成長と発展が持続するまち

市民活躍

協力と信頼で、心豊かにいきいきと暮らせるまち



## DX（デジタルトランスフォーメーション）推進

■ デジタル格差の解消 ■ ICT教育の推進 ■ 生成AIの活用 etc



## 3つの重点テーマに対する取組の方向性

### 強靱・快適



#### (取組の方向性)

適正な財政運営に取り組みながら、市民の暮らしに直結するまちの安全性や快適性、利便性を確保します。

### 賑わい・活力



#### (取組の方向性)

利便性の高い交通網や豊かな自然に恵まれた生活環境など、本市の魅力や優位性を積極的にPRし、まちの活力の源となる地域経済や産業、観光を活性化します。

### 健やか・生きがい



#### (取組の方向性)

- ・市民の健康水準を維持・向上させるとともに、地域コミュニティの活性化を進めます。
- ・文化や芸術など心を豊かにする取組を充実させ、シビックプライドの醸成を図ります。(注)
- ・子どもや高齢者が安心して生活し、活躍できる環境を整えます。

(注)「シビックプライド/CivicPride」「CIVIC PRIDE」は株式会社読売広告社の登録商標です。

## 市長あいさつ

我が国は、人口減少や少子化・高齢化の進行、頻発化する豪雨災害や大規模地震への備え、老朽化する公共インフラへの対応、物価上昇がもたらす日常生活への影響など、多くの課題と向き合う時代を迎えています。また、本市を含め、多くの自治体で財政的な制約が高まり、厳しい行財政運営に取り組まなければならない状況が生まれています。

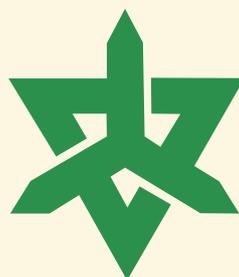
この度策定した本市の新たな最上位計画「第六次東松山市総合計画」は、こうした時代の中で、希望を抱くことのできる「将来の東松山市の姿」を描くための指針となるものです。第六次総合計画に掲げた施策が「愛する郷土・東松山市」のまちづくりを進めていくための力強い原動力となることを期待しております。

未来の東松山市が元気と希望に満ちあふれ、やさしさに包まれた住みよいまちとなるよう、引き続き全力で市政運営に取り組んでまいりますので、本計画に掲げた施策の遂行に向け、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月

東松山市長 森田 光一





東松山市



## 第六次東松山市総合計画(概要版)

令和8年度～令和17年度

2026～2035

令和8年4月発行

〒355-8601 埼玉県東松山市松葉町1-1-58

東松山市役所政策推進課

TEL 0493-23-2221